



本年もよろしく
お願い致します。

防災意識を高めよう！

1月17日(日)、まちづくり協議会が主催して西小林地区の防災訓練が本校で実施されました。

当日は、肥後小林市長をはじめ来賓の方々や地域住民の方々等、多くの方々に参加していただき盛大な訓練になりました。

開会行事の後、南西4区の下沖区長による防災マップ発表や気象台職員の山部美則氏による基調講演、ロープワーク、パネル展示、スモーク体験等が実施され、運動場では、自衛隊や警察、消防車両の展示も行われました。JA女性部による保存食のご飯、漬け物、豚汁の炊き出しもありました。

「天災は忘れた頃にやってくる。」・・・防災意識を高くして生活することは、命に関わることなので大変重要なことです。地震、火山噴火、台風、・・・自然災害はいつどこで発生するか分かりません。最近では異常気象によるゲリラ豪雨等の被害も多く発生しています。いざという時のために日頃から意識を高くして、備えておくことが大切です。

今回の防災訓練は、地域ぐるみで防災意識を高めるためのよい機会になりました。



【山部美則氏による講演】



【ロープワークの様子】



【防災グッズ展示コーナー】



【消防、警察等の車両展示】

成人式に思う

今年も1月5日(火)に小林市の成人式が行われました。今年には小林市内で498名の若者が成人を迎えました。今年の成人式も実行委員会を中心にして自分たちの手で作り上げた素晴らしい成人式でした。

新成人が生まれた年(平成7年)は、阪神淡路大震災が発生した年でもあります。また、中学3年の時、卒業式を控えた3月11日に東日本大震災が発生しています。当時、宮城県にある階上中学校の梶原裕太さんの卒業式の答辞が話題になりました。マスコミにも紹介され、多くの同級生が津波に巻き込まれ、亡くなったことの悲しみを抱えながら涙ながらに前を向いてしっかりと答辞を読む姿に感動させられたことを覚えています。その答辞は次のような内容でした。(一部抜粋)

階上中学校といえば、防災教育と言われ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私達でした。・・・自然の猛威の前には人間の力はあまりにも無力で私達から大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには惨すぎるものでした。辛くて、悔しくて、たまりません。命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの私達の使命です。
・・・必ずよき社会人になります。・・・

大切な肉親や友達を奪われた辛さや悔しさとともに自然に対する畏敬の念、そんな境遇や運命の中で生きていくことへの覚悟のようなものを感じます。

新成人には、これからの長い人生の中で出会うであろう様々な困難にもたくましく立ち向かう勇気と覚悟をもって自らの人生を切り拓く、よき社会人になってもらいたい。そう思います。



- 1日(月) 全校朝会、補充指導
- 2日(火) 社会科見学(3年)
委員会活動
- 3日(水) 茶飲ん場、寺子屋
家庭教育学級
- 5日(金) 新1年生保護者説明会
- 7日(日) T1グランプリ
- 9日(火) 幸小との交流(3年)
クラブ活動
- 10日(水) 縄跳び発表会(全学年)

- 11日(木) 建国記念の日
- 12日(金) 清掃班会
- 16日(火) 立志の集い予行
- 17日(水) 読み聞かせ、教育相談
- 19日(金) 薬物乱用防止教室(5・6年)
- 22日(月) ALT訪問
- 24日(水) 学校参観日、補充指導
立志の集い(5、6年)
- 25日(木) 低学年読書、習熟の時間
- 27日(金) 卒業式練習(4、5、6年)

西諸風ハロウィン！餅勸進

1月14日（木）、今年も餅勸進がありました。餅勸進は宮崎県小林市、えびの市、鹿児島県湧水町一帯に伝わる民俗風習の一つとされています。インターネットで詳しく調べてみると、

厄年の男女の厄払い行事で、1月14日の夜に行われる伝統行事である。厄年の男女を中心とした5～6人のグループが奇抜な化粧で変装して予告もなく20件以上の民家を急襲、音楽に乗せて踊り、無病息災、家内安全を祈願する。餅勸進は基本的には無言で行われ、家人の質問には首を縦に振るか横に振るかで意思表示する。訪問を受けた家庭で餅を貰う（勸進する）のが古来の風習であったが、最近では祝儀や焼酎を出すことが多い。出された焼酎は飲み干すのが作法とされ祭りの終わり頃には、泥酔状態に陥るのが殆どである。

《ウィキペディアより抜粋》

と説明していました。

今年の餅勸進には、PTAチームに小学校から3名の職員（校長、教頭、松吉）が参加させていただきました。【写真参照】



餅勸進PTAチームです。榎木アドバイザー、弓場会長、熊/迫副会長、校長（下別府）、教頭（今藤）、5年担任（松吉）です。誰がどの変装か当ててください。

次の日が勤務だったため、出された焼酎を全て飲み干すという作法を破り、泥酔に陥らないようにしました。久留木副会長は別チームで、榎木副会長、大久保副会長は運転手として参加していただきました。お疲れ様でした。

また、区長様をはじめ地区内のお宅を何件か訪問させていただきましたが、いずれのお宅でも温かいもてなしをしていただきました。有り難うございました。

このように学校職員及びPTA役員が参加したことで、西小林小学校の子ども達の無病息災、校内安全は今年も保証されたと考えています。

時々、知人から「餅勸進って、何？」と尋ねられることがあります。その時は、「西諸風、ハロウィン。」と答えています。

にしこぼのきらきら子どもたち

○ 第41回新春山麓路ロードレース大会
小学校低学年の部

第3位 3年 西立野 莉桜さん



〈参加児童名〉

2年 早田 健士朗君 3年 坂元 望洋君

4年 早田 暖さん 6年 西立野 愛菜さん

○ 県児童文集「ともだち」

優秀賞 5年 永田 琳里乃さん

○ 税についての絵はがきコンクール

奨励賞 6年 志水 琴菜さん

○ 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

金賞 2年 村山 琉聖君

○ 青少年健全育成「家族の作文」入選者

最優秀賞 3年 西立野 莉桜さん

「サムとのさんぽ」

優秀賞 1年 中西 晴子さん

「ねむい あさ」

優良賞

1年 小倉 とむろ君 2年 早田 さくらさん

3年 石隈 文明君 4年 古川 慧杜君

5年 大山 拳史君

佳作

1年 早田 ひろや君 5年 大久保 碧瀧君

6年 脇屋敷 翼君 6年 北田 琉生君

6年 下ノ園 琳世さん 6年 迫 奈々恵さん

「家族の作文」には、にしこぼの子ども達は、ほぼ全員が作文を書いて応募し、応募率は市内の小学校で一番でした。どの学年も入選者があり、学校賞もいただきました。結果も大切ですが、ほぼ全員が努力して作文に挑戦したことを誇りに思います。

その中でも最優秀賞を受賞した西立野莉桜さんの作文を紹介します。

サムとのさんぽ 3年 西立野 莉桜

わたしは、毎朝犬のサムとさんぽしています。さんぽすると、とても運動になります。

わたしは、サムはつかれないのかなと思いながら走っています。お姉ちゃんも、わたしと同じことをかんがえているんじゃないかと思っています。

サムは、走った後水をとてもおいしそうにのんでいます。わたしも、バレーをした後やマラソンの練習をした後、のどがかわきます。その時、のんだお茶は、とてもおいしく、何だかサムの気持ちがよく分かるなあ……。と、思っていると、またサムは走り出します。

わたしもサムを見ていると走りたくなりいっしょに走ります。

こんどは、お姉ちゃんや妹もいっしょにさんぽに行き、楽しんでみたいです。さんぽに行くのが楽しみです。

〈評〉朝のサムとのさんぽをしているところがいいですね。外のきれいな空気をすって、莉桜さんも元気いっぱいです。朝から元気いっぴいに過ごしているところに心をうたれました。（社会教育課 福留先生より）